

生誕110年記念 Confessions d'un moraliste

# 北原武夫展

—あるモラリストの告白—

2017

10.14[土]»12.3[日]

会期中無休

## 小田原文学館

神奈川県小田原市南町2-3-4  
tel. 0465-22-9881

— 他人の目に映った自分の方が  
本当の自分なのだ —





生誕110年記念 Confessions d'un moraliste

# 北原武夫展

- あるモラリストの告白 -

北原武夫（本名・健男/1907～1973）は、小田原中学時代から文学に親しみ、慶應義塾大学在学中には「三田文学」を中心に評論や小説を発表し始めます。昭和14年には「妻」が芥川賞候補となり、文壇に進出。戦時中の従軍体験を経て、戦後は宇野千代とともに復刊した雑誌「スタイル」が人気を博す一方、自身の体験を交えた『告白的女性論』がベストセラーとなりました。

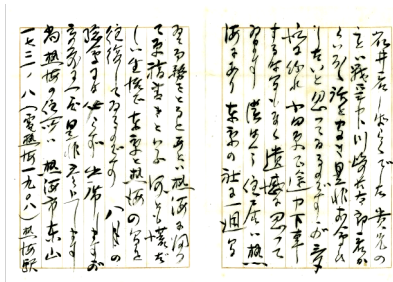
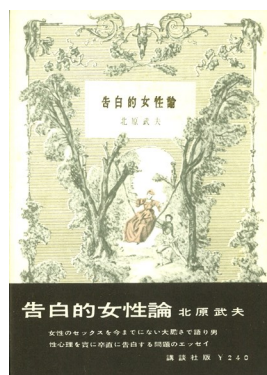
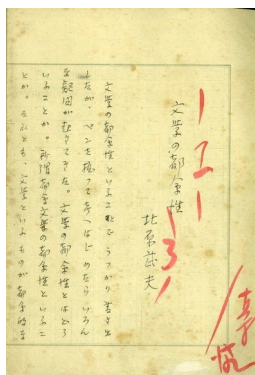
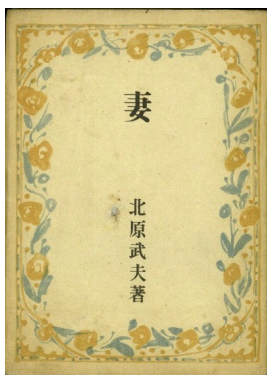
北原は、人間をありのままにとらえ、現実生活に密着した道徳を追究した、ジッドなどフランス・モラリストの作品を愛読しました。その影響は、人間を鋭く洞察し冷静に批評する一方、底には情熱を秘めていたという北原自身やその作品にもうかがうことができます。

生誕110年を記念して開催される本展では、生涯をかけて文学への理想を追求し続けた作家の軌跡をたどります。



残りの生涯をせめて文学者らしく生きたいという思いで今はいっぱいだ。

—「文学論集」あとがきより



- 1 第一作品集『妻』（春陽堂、昭和14年6月）
- 2 原稿「文学の都会性」（昭和16年）
- 3 評論集『告白的女性論』（講談社、昭和33年11月）
- 4 石井富之助宛書簡（昭和23年6月12日）
- 5 小田原にて川崎長太郎と（昭和29年11月）



## 会期中のイベント

[学芸員による展示解説]

日時 10月22日(日)、11月11日(土)、12月3日(日)

11:00～13:30(各日2回)

場所 本館1階展示室

費用 無料(当日の入館券が必要です)

申込 不要

[ミュージアム・リレー 第242走]

特別展を中心に小田原文学館の見どころをご案内します。

日時 10月27日(金) 10:00～12:00

場所 文学館本館および庭園

費用 無料(入館料免除)

定員 30名

申込 小田原市立図書館(0465-24-1055)へ電話(10月26日(木)17:00まで)

\*ミュージアム・リレーとは、神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会(WESKAMS)加盟施設によるリレー形式の催しです。

## 同時開催 特集展示

### 「白秋と童謡、「赤い鳥」

100周年を来年に控えた児童文芸誌「赤い鳥」をキーワードとして、白秋の童謡をめぐる主要な作品を館蔵資料のなかから紹介します。

(平成30年7月下旬まで開催予定)

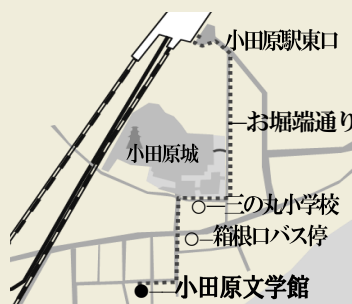
旧田中光顕別邸・国登録有形文化財

## 小田原文学館

〒250-0013 神奈川県小田原市南町2-3-4

問合せ 小田原市立図書館 ☎0465-24-1055

\*白秋童謡館は改修工事のため  
平成30年7月下旬まで休館予定です。



入館料 大人250円、小中学生100円

(団体/障害者手帳をお持ちの方割引有)

アクセス・小田原駅東口から徒歩20分

・小田原駅東口から箱根方面行バス  
H/T/J/Z/U線「箱根口」下車徒歩5分

・車で国道1号線「箱根口交差点」から  
路地に入り220m右折後直進100m  
(駐車場7台・無料)

開館時間 9:00～17:00 (最終入館16:30)